

八幡の森

36日間の夏休みが終わり、学校が再開されました

8月27日、36日間の夏休みが終わり、静かだった学校に明るく元気な子どもたちの姿が戻ってきました。今年の夏も厳しい暑さが続きましたが、子どもたちは、健やかに夏休みを過ごしたようです。

GIGA スクール構想を推進している今年度は、タブレットを使用する課題にも取り組みました。

新型コロナウイルス感染症の拡大が心配される中ですが、学校では、これからも対策をしっかりと行いながら、「からだ元気 こころ元気 元気に学ぶ 昭和の子」を合言葉に、子どもたちが生き生きと学習や生活ができる学校づくりに取り組んでまいりますので、引き続き、ご支援とご協力をお願いいたします。



学校が再開し、登校する子どもたち

こころ元気

色とりどりの短冊に願いをこめて ~色あざやかな七夕飾り~

今年も体育館玄関前と体育館通路に恒例の七夕飾りが飾られました。色とりどりの短冊に、子どもたち一人一人が願い事を書き、心を込めて結びつけました。子どもたちの願い事には、自分自身の願いのほか、新型コロナウイルス感染症が早く収束し、みんなが元の生活に戻れることを願うものも見られました。

飾りつけの準備や片づけのために、戸祭台悠友会、PTA、地域協議会の皆様にお手伝いいただきました。ありがとうございました。



地域や保護者の皆様にお手伝いいただき、今年も色鮮やかな七夕飾りが出来上がりました。

からだ元気

健康な歯をめざして ～歯科医・歯科衛生士を招いて「歯の健康教室」～



虫歯にならないために大切なことを学びました

7月15日に「歯の健康教室」が行われました。本校では、歯の健康づくりに進んで取り組めるよう、毎年3年生を対象に行っています。

学校歯科医から成長による口の中の変化や虫歯にならないために気を付けることなどの説明を聞いた後、歯科衛生士からブラッシングの指導を受けました。子どもたちからはたくさんの質問が出され、健康な歯への関心が高まった様子うかがえました。

元気に学ぶ

「宇都宮学」実践中！ ～「宮っ子伝統文化教室」黄ぶな絵付け体験～



黄ぶなの絵付けをする6年生

宇都宮市では、宇都宮の歴史や文化、産業などについて理解し、郷土への愛情と誇りをもてるよう「宇都宮学」の学習を行っています。

7月に6年生が、地域に伝わる様々な伝統文化を体験できる「宮っ子伝統文化体験教室」が行われ、無病息災の象徴として親しまれている黄ぶなの絵付けを体験しました。説明や絵付けの体験を通して、宇都宮の長い歴史のある伝統文化にふれることができました。

【運動会の実施について】



新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、次のような内容で運動会を実施します。ご理解・ご協力をお願いいたします。

- 1 日時 10月23日（土） 8：40～11：30（雨天順延） 昼食なし
※通常登校，集団下校（12時頃）
- 2 参加者 児童・職員・保護者（少人数での参観をお願いします）
- 3 その他 ・児童の種目は、個人走及び表現（ダンス）のみとします。
また、代表児童による応援合戦，及びリレーを行います。
・来賓，地域の皆様，敬老，来年生のご招待はありません。

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては変更となる場合があります。